

令和5年11月吉日

地域の皆様へ

消防団員募集のご案内について

日ごろより、磐田市消防団の活動に深いご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。また、令和4年台風15号、令和5年台風2号により被害を受けられた皆様におかれましては、心よりお見舞い申し上げます。

さて、近年頻発している台風災害等に加え、大規模地震等の発生が危惧されている中、地域の消防防災力の要である消防団にかかる期待はますます大きくなっています。

地域の安全安心を守るため、磐田市消防団では消防団員を募集しています。

磐田市消防団活動概要

消防団は地域における消防防災のリーダーとして、火災発生時の消火活動のみならず、地震や風水害などの大規模災害時における避難誘導、救出救助活動など重要な役割を担っています。

平常時においては、火災などの災害に対応するための訓練、機械器具等の点検整備のほか、地域と合同での防災訓練や、住民への防火広報、応急手当講習、市民レスキュー講習など、地域に密着した活動を展開しており、地域における防災力の向上、地域コミュニティの活性化に大きな役割を果たしています。

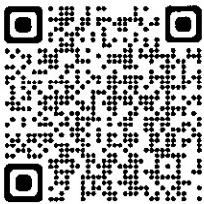
詳細は磐田市ホームページを御覧ください。

https://www.city.iwata.shizuoka.jp/bousai_anzen/bousai/kaji_sonae/1001170.html

入団を希望される方はお近くの磐田市消防団員または下記担当までご連絡ください。

今後も消防団員一人ひとりが、地域を守るために活動して参ります。地域の皆様におかれましては、消防団活動へのご理解とご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

磐田市ホームページ 磐田市消防団 Instagram



磐田市消防団事務局
(磐田市消防本部警防課内)
担当 中村、山中
電話 0538-59-1716

リユース品について

現在、鍵盤ハーモニカについては、受け入れを中止しております。制服、大きいサイズの体操服(中学生、小学生)を譲っていただくと助かります。いただいた品は、状況によって他団体に提供する場合があります。

■小学校(しょうがっこう)、中学校(ちゅうがっこう)で使(つか)うものを渡(わた)せます。制服(せいふく)やランドセル、鍵盤(けんぱん)ハーモニカ、リコーダー、体操服(たいそうふく)があります。お金(かね)はいりません。ほしい人(ひと)は磐田国際交流協会(いわたICE)に取(と)りに来(き)てください。

■Entregas de materiais escolares do ensino fundamental (Shōgakkō, Chūgakkō). Temos uniformes, mochilas escolares, piano de sopra, flauta e uniforme de educação física. Os materiais são gratuitos. Disponível na Associação de Intercâmbio Internacional de Iwata (ICE Workpia Iwata) Os materiais serão entregues no balcão da ICE.

会員募集

会員になって、いろいろな国の方と友だちになりませんか。

【年会費】

個人会員……1,000円 家族会員……2,000円
 団体会員……5,000円 賛助会員……1口10,000円

【会員特典】

会報誌「いわたICE NEWS」をお届けします。
 協会のイベントや講座の情報をお知らせします。
 当協会主催の講座やイベントの参加費を割引します。

通訳・翻訳

ポルトガル語、インドネシア語、英語、フィリピン語

- ・学校での保護者と先生の面談での通訳
- ・企業内文書(就業規則等)の翻訳
- ・外国人向けチラシ作成

※その他、会社での日本語学習や生活のサポート
 困ったときは、お気軽に(一社)磐田国際交流協会事務局までご連絡ください。

広告募集

いわたICENEWSに広告を掲載してくれる方を募集しております。会社のPRや人材募集の広告などを載せませんか?
 発行部数7,500部で、会員、他市町国際交流協会等へ送付、磐田市自治会全戸回覧、磐田市内公共施設・郵便局での配架をしております。広告サイズ、広告料については協会にお問合せください。

賛助・団体会員の皆様(敬称略・50音順)

【賛助会員】
 株式会社ITC、学校法人静岡理科大学浜松日本語学院、ジ・オーシャン株式会社、太平工業株式会社、浜松磐田信用金庫、ヤマハ発動機ビズパートナー株式会社、株式会社ルマンオート

【団体会員】
 磐田市自治会連合会、いわた市文化協会、一般社団法人磐田青年会議所、磐田ユネスコ協会、有限会社兼子鉄工所、国際ソロプチミスト磐田、静岡産業大学、JAAC日米学術センター、丸西機械株式会社、株式会社ライトハウスエデュケーション

あなたも日本語教師になりませんか?
 (日本語教師養成講座)

詳しくはこちら! CHECK!

毎週土曜日 / 「オープンスクール 説明会&授業見学」 毎月開催。まずはお問い合わせを。

学校法人 静岡理科大学 浜松市中区中央 3-10-8
浜松日本語学院 浜松日本語学院
 Hamamatsu Japan Language College (担当:鈴木/秋山)
Tel.053-450-6590

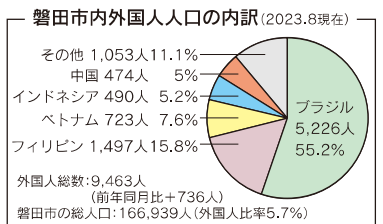
一般社団法人 磐田国際交流協会
 〒438-0086 磐田市見付2989番地3 (ワークピア磐田1F) TEL・FAX: 0538-37-4988 (平日 9:00~17:30)

【英語の名言】 All the adversity I've had in my life, all my troubles and obstacles, have strengthened me.
 「人生で経験したすべての逆境、トラブル、障害が私を強くしてくれた」～Walt Disney(ウォルト・ディズニー)～

ホームページ <https://www.iwataice.jp>

facebook <https://www.facebook.com/iwataice>

一般社団法人 磐田国際交流協会会報 回覧 2023.11 vol.52
IWATA ICE NEWS



ワークピア磐田で活動する「あつまれ! にほんごひろば」「こどもにほんごひろば」の学習者が、掛塚屋台囃子保存会の皆さまと一緒に活動しました。掛塚祭りの様子やお囃子で使う楽器の説明を受け、実際に練りや太鼓の演奏を体験しました。初めての経験に最初は緊張した様子でしたが、保存会の方たちのサポートで上手に演奏できるようになり、大変盛り上がった会となりました。掛塚屋台囃子保存会のYouTubeチャンネルでは、当日の様子を公開しています。

掛塚屋台囃子保存会 インタビュー



▲松山会長(左)と内藤さん(右)

「大変盛り上がったイベントになった!」と話す、松山会長と内藤さん。インタビューを通して、掛塚祭りに対するお二人の熱い想いが見えてきました。外国人住民が約5.7%を占める磐田市(2023年8月末日現在)。お祭りを通した多文化共生についても参考になるお話を聞くことができました。

Q 今回、磐田市日本語教室から日本の音楽について教えてほしいと依頼があったときどんなお気持ちでしたか?

A 私たちは、どんな小さな依頼も断らないという気持ちでやっている。それに2019年には、静岡県主催の異文化交流会と防災講座でインドネシア人住民と交流したり、お囃子の紹介をした実績があったから心配はなかった。

Q 外国人の学習者に対して、日本語が通じないかもという不安はありませんでしたか?

A なかったね。いつも「笑顔で楽しく!」という気持ちで、難しいことは考えないようにしているしね。どのイベントでもそうだけど、こちらがうまくのせて盛り上げちゃう。

掛塚は、江戸時代には天竜川上流の木材を江戸、大阪に積み出す港町として栄えました。*1 松山会長や内藤さんのことも時代も、たくさんの商店が立ち並び活気ある街だったそうです。交易によって多様な文化が持ち込まれ、多文化交流の土壌が脈々と受け継がれている印象を受けました。

電洋地区の外国人の割合は、2023年8月末現在で約10%*2であり、磐田市の中で最も高い割合となっていますが、どのような関わりをしているのでしょうか。



▲練習に参加する地域の外国人

Q 掛塚祭りに参加する外国人はいますか?

A コロナの前には、工場で働いているフィリピンの人に参加してもらって練習を一緒にやったことがあったね。とても盛り上がり楽しかった記憶がある。現在は、少子高齢化でお祭りの後継者に悩むところがある。家を建て、地域に住んでいる外国人の家庭もあるので、お祭りに参加してもらえたらうれしいと思っている。

今回は、松山会長をはじめとする掛塚屋台囃子保存会の方々の熱い気持ちと外国人学習者の学習意欲により盛り上がったと感じました。磐田市では、外国人人口が9000人を超え*3、永住者、定住者など長期滞在が可能な資格を有している外国人が8割を超えています。*4 今後は、外国人を巻き込んだお祭りやイベントのあり方を考えていくべきではないかと感じました。



▲教室で練習に参加する学習者

- *1) 掛塚祭り本部資料調査部 編集・発行 平成28年掛塚まつりより参考
- *2) 総務部 総務課 文書・統計グループ 磐田市人口 令和5年度 磐田市HP/2023年9月 https://www.city.iwata.shizuoka.jp/saiseijohou/profile/toukei/1005583.html (※2023.10.11)
- *3) 自治市民部 自治デザイン課 ダイバーシティ推進室 「国籍別外国人人口」磐田市HP/2023.09 https://www.city.iwata.shizuoka.jp/kurashi_tetsuzuki/chihiki_kouryu/tabunkakyousei/1008507/index.html (※2023.09.15)
- *4) 自治市民部 自治デザイン課 ダイバーシティ推進室 「第4次磐田市多文化共生推進プラン」 磐田市HP/2022.04 https://www.city.iwata.shizuoka.jp/res/projects/default_coroject_page/00110021683/tabunka.End.pdf (※2022.09.15)

多文化富士登山 ~憧れの富士山へ~

インドネシア、ベトナム、ブラジル、中国、フィリピン、ミャンマーなど9カ国の49人が参加し、富士山に登りました。事前の説明会で話したことを守って、皆さん服装や装備は完璧!小雨が降ったりやんだりする中での登山開始になりました。御殿場ルートは富士登山の中では一番過酷と言われていますが、参加者は自分の体力と体調に合わせて無理のない登山を楽しみました。その中で6人が山頂に到達!頂上からではないけれど美しい朝日を見て感激し、自分より下にある雲を見てワクワクし、登山や下山途中声を掛け合って励ましたり気遣ったり…。参加した皆さんにとって、忘れられない思い出になりました。この多文化富士登山は、会員の方々の協力のおかげで実施できました。参加した皆さん、協力してくれた皆さん、見守ってくれた皆さん、ありがとうございました。



8月5日(土)・6日(日)

日本語ボランティア養成講座

7月9日(日)~10月7日(土)(全8回) 講座では、磐田市日本語教室が実践する対話交流型の日本語教室について学び、養成講座を修了すると対話のボランティアとして教室に参加するだけでなく、対話進行役として活動することができます。今回の講座には、17名の方が参加しました。第3回、4回講座では、単発で参加できる公開講座も開かれました。

●7月22日(土) 講師/静岡県立大学国際関係学部教授 高畑 幸氏 「地域社会の多文化共生」~みんなで日本語を学ぶ・教える意味~ 日本や静岡県における外国人の動向や地域の多文化共生についてお話いただきました。磐田市内外の事例について学び、動画を見た後はグループでの意見交換をし、自分たちができる多文化共生について考えました。



▲7月22日 地域の日本語教室は、外国人と出会う窓口です ▲8月5日 グループワークの様子

●8月5日(土) 講師/東海日本語ネットワーク副代表 米勢 治子氏 「地域日本語教室のあり方と日本語ボランティアの役割」~外国人の日本語習得のためにできること~ 地域の日本語教室のあり方、「日本語ボランティアの基礎力」をつけるためのポイントを説明していただきました。講義だけでなく、グループワークを中心に自分の意見を出し、他の参加者の考えを聞くことができ、学びが深まりました。

市民活動パネル展

7月19日(水)~23日(日) 磐田市中央図書館で、市民活動センター「のっぽ」主催の市民活動パネル展が開催されました。今回の展示では、いわた多文化防災の会(i-TABO)が作成した「2022年の台風15号で起きたこと」、磐田国際交流協会の活動について展示しました。

豊田地区の中学生ICE訪問

9月27日(水)・28日(木)・10月5日(木) 豊田南中学校1年生20名、同中学校3年生3名、豊田中学校1年生5名が協会を訪問しました。磐田国際交流協会の事業説明やいわた市に在住外国人の現状についての説明には、真剣な表情で耳を傾けてくれました。多文化共生の実現に向けて生徒から意見を聞くことができ、スタッフも大変参考になりました!